

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成28年5月6日(金) 18:30～21:00

場所：市民活動センター

日程

1. 開会
2. 平成28年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文 門脇京子
佐古 廣 土田良和 徳尾 勝 松本幸永 渡部敏樹

欠席者（敬称略）

佐名木歩実

<開会>

（事務局）

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。いつも貴重なご意見や熱心な議論をいただき、感謝申し上げます。

本日の審査会の進め方について説明いたします。

審査は審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

本日はプレゼンテーションを4団体にしてもらいます。一般事業が4件となっております。1団体15分間で、最初に3分間で申請概要説明をしていただき、残りの12分間で審査員に質疑をしていただきます。その間、審査員以外の方には傍聴していただきます。

プレゼン終了後、委員の皆さんで討議をいたします。審査表などを参考に一件ずつ採択、不採択、修正の確認及び決定をしていただきます。なお継続の緑化事業につきましては書類審査のみで、市として緑化事業は極力認めたいと思っています。審査の視点としまして、住民の参加度や経費、補助金が無ければできない事業かなどについて見ていただけたらと思います。

それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 平和のための戦争展境港市実行委員会

・申請事業 境港市平和のための戦争展

・事業内容 平成28年11月19、20日に市民会館で開催予定。戦争遺品の展示、戦

争体験者よる体験談、映画会を通し、平和の尊さを知り、語り継ぐことを目的とする。

(委員)

申請書の事業費内訳明細に対して、添付の見積書に明細と関係ない項目も含まれているため事業費の確認が難しいのでわかりやすい見積書の添付としてください。

事業の目的について、平和について考えるということは良いことであり、継続して行ってほしいものではありますが、参加した方が、当事者意識、主権者であるという自覚を持っていただけるように事業内容を工夫して行ってください。

(委員)

収支予算の中でポスター印刷用インクの他に雑費でもインク代が計上されている。これはどのような内容でしょうか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

雑費の部分は会議資料の作成など、内部の事務経費でのインク代の計上となります。

(委員)

当補助金の申請においては、申請事業の実施に必要な経費を申請するべきであり、事業実施以外の活動に使われる経費については含めるべきではないと思います。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

事業実施のための会議資料やチラシの印刷にも使う経費となります。

(委員)

事務雑費については、他活動の経費と混同しないこと、多額の経費の申請をしないようにしてください。また他の委員からの指摘にもありましたが、見積書に申請経費以外の項目が載っており分かりにくいいため、分かりやすい見積書を添付するようにしてください。

(事務局)

申請経費に対して、対応した見積書がきちんと添付されているかについて、審査会までに事務局でチェックしておりますが、委員のご指摘のとおり、申請経費以外が記載された見積書の添付があり非常にわかりにくいものになっておりますので、申請団体におかれましては、今後申請される際には改善するようにしてください。

(委員)

事業の主旨についてです。自分も戦争については当然反対の立場です。平和の大切さ、

戦争反対ということを伝えていくのは非常に大変なことだと思います。幅広い世代、戦争を知らない子どもたちに伝えていくにはどのようにしたらいいか、世界情勢も大きく変化していく中、自分たちが当事者意識を持って平和について考える機会となるよう、事業内容に工夫をしていってほしいと思います。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

昨年の開催時には、小学校、中学校には全生徒分の枚数のチラシを配布、高校には3～4枚ずつポスターを配布して広報いたしました。なかなか若い世代に来ていただくのは難しいのが現状です。継続していくことが大事だと思っておりますので、この事業を継続していきたいと思っております。

(委員)

戦争を経験した世代やそれに近い高齢者の方が過去の惨状を懐古するだけでは、平和の大切さを語り継いでいくという主旨・目的は達成できないと思っておりますので、若い世代に参加していただけるように事業内容を考えていってください。

(委員)

今回、市民会館での開催とのことですが、もっと身近で、例えば各地区で戦争の体験談などが聞けるように、語り部の方の話しを録音し、それを使ったりして活動を広げていくこともしていったらいいのではないかと思います。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

語り部の話は毎回録音しております。

(委員)

昨年の開催時に参加させていただきましたが、入口に参加者受付と募金箱が置いてありました。入口に置いてあると参加者名簿に名前や住所等を記入し、お金を入れないと参加できないのではないかと考え、参加を躊躇される方もいますので、考慮してもらいたいと思っております。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

実行委員会でやっており、会の予算が乏しいため募金箱を置かせていただいております。受付方法や募金箱の位置などは検討したいと思います。

(地域振興課長)

昨年も当補助金で助成していますが、昨年の採択時に付帯条件として、開催に当たっては特定の政治主義・思想を反映させることがないようにすることと致しました。こういっ

た事業を行うと政治色が出ているのではないかと思われがちになると思いますが、政治色を出さない工夫はありますか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えるという部分のみで事業展開していると考えております。政治色が出ることはないようにと会の中でも伝えております。

◇2団体目 青少年育成境港市民会議余子地区部会

- ・申請事業 こども農業塾Ⅱ
- ・事業内容 地域の方々との、さつまいも、そば栽培などの農業体験、地域の人との交流を通し、栽培の喜び、感謝のこころを育み、健全な青少年育成に繋げていく。

(委員)

活動内容については良く把握しており、農業関係であれだけの規模、多様な参加者で事業開催できるのは、非常にまれです。団体の方から昨年の反省として、子どもの参加者が少ないという説明もありましたが、それでも多くの子どもが参加し、その父兄も交えて多くの方に参加いただいている事業です。今年は、昨年の反省も踏まえ、新たな事業展開もされるということで私も非常に楽しみにしています。当補助金を有効に活用していただきながら事業の継続、拡大をしていただければと思います。

(委員)

参加者に対する保険はどうなっていますか。

(青少年育成境港市民会議余子地区部会)

地区の公民館の保険などはありますが、今のご指摘を受けて、実施団体としては保険を掛けていないということに気づきましたので、イベント保険等の加入など対応していきたいと思います。

(委員)

農業事業の場合、単発のイベントでないため、保険の掛け方については難しい面もあると思います。指導者の方には安全に十分注意していただき、事業をしていただきたいと思います。

(青少年育成境港市民会議余子地区部会)

子どもたちが事業を行う畑までの移動時には大人の付添をつける、低学年以下の子どもは親の送迎、同伴を義務付けるなどしております。安全には十分注意して事業を行っていくように致します。

(委員)

事業名が「子ども農業塾」ということでもありますので、大人がほとんどのおぜん立てをするのではなく、子どもたちが主体的に参加し、子どもたちをきちんと育てるといった視点で事業を実施していただければと思います。

(青少年育成境港市民会議余子地区部会)

草取りなどの普段の管理は子どもたちも時間がないため、大人でやっております。芋の苗植えについては最初の説明以外は子どもたちに任せてやっていますが、植え付けが不十分なものも多々ありますので、後日、植え直しなどの対応をしています。そば打ちに関しても自主性に任せて行い、上手くできず、不恰好なものが多くありました。本来であれば草刈など通常の管理も子どもでもやってもらって、自主性に任せていきたいところですが、そこまではなかなか難しいです。

(委員)

子どもに教えながら実施するのは教える側の大人の方の苦労が多いかと思います。そば打ちなども自分たちが作ったということが、たとえ不恰好なものになっても美味しく、いい経験になると思うので頑張ってください。時の里など介護施設と一緒に事業する、ふれあいの家事業に食材を提供するといった取組は非常にいいことだと思います。子どもだけでなく、お年寄りの方も喜ばれることだと思います。

◇3 団体目 青少年育成境港市民会議 境地区部会

・申請事業 第4回落書き大会

・事業内容 平成28年6月19日開催予定。本町商店街アーケード内、水木しげる記念館前において境港市内の小学校児童・保護者、観光客、地元参加者で道路の所定場所内にチョークで自由に落書きを行い、写真撮影を行う。まちおこしのひとつとして、また幅広い世代の交流の場としていく。

(委員)

少ない助成額でかなり大きな活動をされていて、年々活動も大きくなっていて非常に努力していただいていると思っています。境高校の美術部の生徒の立派な作品を通じて、小さい子が自分もこういった絵を描いてみたいと思ったりしたことなど、世代をつないでいく「落書きの先」を目指した取組もしていることも良いことだと思います。1年に一度きりのイベントというのがもったいない気がしています。運営が大変なイベントで経費もできるだけ自費でと努力していただいていると思いますが、こういったイベントであれば当補助金でもっと多くの助成ができると思いますので、有効に使っていただけたらと思います。昨年は観光客の方も多く参加されたようですね。

(青少年育成市民会議境地区部会)

去年が約320名の参加で、県外の参加者が36%ありました。当日は、観光客にも参加費無料ですので是非参加してくださいとの声かけもして、参加した子どもたちに非常に喜んでもらいました。

(委員)

できましたら、観光客も含めたこの交流が1年に一度きりのものでなく、今後にもつながっていくような方策も考えていただけたら、もっと大きな活動に繋がっていくと思います。

(委員)

申請書の社会貢献性の部分でより良いまちづくりに寄与するといった主旨のことが書かれています。イベント当日に商店街の店舗の方と一緒にあった取組の実施はありますか。

(青少年育成市民会議境地区部会)

参加者が待ち時間に各店舗を回っていたりするので、店舗への賑わいづくりにはなっていると思います。検討はしてみたいですが、自分たちは落書きを消すなどの運営で手一杯で商店街の店舗と一緒にあった取組の実施までは正直難しいのが現状です。

(委員)

イベントの実施風景を公民館祭りや市民活動センターで展示されていることは良いことだと思いますが、展示がそのまま長期間されたままになっており、他の使用団体に支障ができていたこともありますので、1か月など期間を区切って展示をしていただけたらと思います。

(青少年育成市民会議境地区部会)

その際にご迷惑をお掛けしました。ご指摘のとおりにしていきます。

(委員)

6月の第3日曜日という日にちは境地区の敬老会とかぶってしまいます。6月の第3日曜日に開催するというのには何か理由がありますでしょうか。

(青少年育成市民会議境地区部会)

団体の役員に学校関係者や地域活動をされている方が複数名おり、学校や地域のソフトボール、バレーボール大会の予定があるなどして、6月の第3日曜日というのが役員の方の予定が一番合う日付であるので、この日を開催日としています。敬老会と重なることも承知しておりますが、様々な地域の役職等を兼任している役員が多いため、申し訳ありませんがこの日程とさせていただきます。

(委員)

申請に挙がっている1枚あたりのカラーコピーの料金が少し高い気がしますので、他の業者でも見積をとるようにしてみてください。

(青少年育成市民会議境地区部会)

ポスター用のカラーコピーですので通常の紙と違うものになりますので割高になっています。

(地域振興課長)

昨年実施時に見学に行って、とても良い事業だと思っています。事業費を削って、できるだけ自費でということですが、こういった事業を支えていくための補助金ですので是非有効に活用していただければと思います。

市内の子どもたちがあまり水木しげるロードに行かない、水木しげるロード、商店街に地元の子どもたちに来てもらいたいという思いから、この事業を実施しているというお話しがありました。観光客が多く参加していることもいいことですが、市内の子どもたちに参加してもらうことは大切なことだと思いますので、継続して実施していただきたいと思います。市内の他の場所でもこういったイベントが開催されるといいなと思っています。

(青少年育成市民会議境地区部会)

雨天の際にも実施できるのが現在の場所しかありません。市民会館の下の図書館に抜ける道もいいですが、現在は通行禁止なのでそれも難しいのが現状です。

いい場所があれば他でも開催していけば、それは新しい展開になると思いますが、道路の占有の関係など、雨天でも順延ができないので、そういった面からも現在の場所以外は難しいと思っています。

私も30数年、境地区で商売していますが、地元のお客さんが「水木しげるロードは観光客が行くもので、自分たちには関係ない」といったことを言われるのが一番悲しい気持ちになりますので、境港市の子どもが小さいときから、水木しげるロード、商店街を訪れるきっかけとなってほしいと思っています。以前に参加した子どもが今度は自分の弟、妹を連れてまた参加してくるといった光景もここ何年か見えていますので、このイベントがきっかけとなって、繋がっているなというのは感じています。

(委員)

境港駅前の観光案内所の出入り口のところに「本日のイベント」という掲示板があります。あの場所には広報を載せてもらっていますでしょうか。観光協会に依頼すれば掲示してもらえらると思いますので、もししていないようでしたら、実施したらいいと思います。

(地域振興課長)

観光協会にお願いすれば、観光協会のHPにイベント情報を掲載してもらえるかもしれませんが、そういったことも検討してみたらどうでしょうか。

(青少年育成市民会議境地区部会)

いいアドバイスをありがとうございます。会長とも相談して実施するように致します。

◇4団体目 境港歴史楽会

- ・申請事業 門脇重綾遺稿歌集「蠮園集」翻刻版の発刊
- ・事業内容 郷土の偉人「門脇重綾」の遺稿歌集「蠮園集」翻刻版の発刊、また発刊記念講演会を開催する。歌人としての門脇重綾を周知するとともに、研究・調査の基礎資料となる翻刻版を発刊することにより、「門脇重綾」についての研究・調査の促進を図る。

(委員)

郷土の偉人を顕彰するいい事業だと思います。今回は書籍の出版が事業のメインとなっておりますが、広く市民に知っていただく取組を進めていってほしいと思います。温故知新という言葉がありますが、郷土の偉人の門脇重綾が何を思って、どのようなことをされたのかという過去の事例に学びながら、現代の我々が今後どのように進んでいったらいいのか知るといふ風に活動が広がっていったらいいなと思います。印刷経費など努力して圧縮してもらっていますが、必要であれば当補助金で助成ができますので有効に活用してほしいと思います。

(境港歴史楽会)

外部の専門家に監修していただきますが、基本的には素人が趣味も含めてやっていますので、講演会などもしていますが、なるべくお金をかけない、謝金のいらぬ講師を探すなどしてやっております。そういった形で少しでも知っていただけるように活動していきたいと思います。今年は7月と9月と11月に講演会の予定としています。

(委員)

講演会などのイベントの助成もできますので、補助金の活用を検討してみてください。

(委員)

私は先日、歴史楽会のイベントの伊能忠敬測量隊に参加させていただきました。過去の偉人の素晴らしさを知るとともに、そのようなイベントを開催して頂いたことに感謝しております。広く市民の方にも境港が生んだ偉人を身近に感じていただけるように事業していただきたいと思います。

(委員)

去年、文化ホールで門脇重綾の遺品展に参加して、その2～3年前にも遺品の一般公開に参加させていただきました。郷土にすごい人がいるのだなと感心し、市民に知ってもらえるようになればいいなと思いましたので、このような事業をされるということはとても良いことだと思います。申請書を見て、予算額が少なく、少しさびしい気がしますので、よい事業であれば市の方も協力してくれると思いますので、いろいろ検討してみてください。当補助金以外に助成金とありますが、これは文化協会の助成金のことでしょうか。

(境港歴史学会)

自分たちのできる範囲でお金をあまりかけないようにしております、昨年から、講演会の資料の印刷費などを文化協会から助成してもらっています。

(委員)

いろいろと大変だと思いますが、講演会活動など是非頑張ってください。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。まずは「青少年育成境港市市民会議境地区部会」から意見ををお願いします。

(委員)

昨年の開催時に見にいきましたが、高校生の絵のところはすごく人だかりができていて、上手に描くものだと感心しました。

(会長)

今度で4回目の開催になります。前回から高校生に描いてもらおうという新しい試みもされています。ただ来て、道路に描いてもらったということだけでなく、次につながる方向性ということも考えていかないといけないと思います。

(委員)

一回限りで終わるのではなく、イベントでの交流が続いていく方策も検討していかないといけないと思います。

(委員)

つい先日、鳥取市のこどもの国でも落書きイベントが行われており、境港市のイベント

を参考にしたのではないかと思います。

(会長)

今回は広報で観光協会の活用も検討されるとのことでしたので、さらなる参加者の増加が見込まれるのではないかと思います。

それでは、当事業については申請通りの採択としてよろしいでしょうか。

<異論なく、採択>

(会長)

続いて、「平和のための戦争展境港市実行委員会」です。

(委員)

審査の際の質問でもありましたが、申請経費の雑費の印刷代について、申請事業以外の通常の活動分も入っているような気がします。

(会長)

申請書類もわかりにくいものだったので、もう少し各経費が分かりやすいように整理した形で申請をいただけたらと思います。

(委員)

見積もりのこことここを足したらこの数字になるという形で、非常にわかりにくいので見積書のつけ方などしっかり整理してもらいたいと思います。

(委員)

ポスター100枚、チラシ10,000枚と非常に数が多いですがどこに配ったりしているのでしょうか。

(事務局)

どこに配っているのかは把握しておりませんが、昨年もチラシが10,000枚との申請でしたので、本当にそれだけ必要かというのは団体に質問しておりますが、その数だけ作成するとのことでした。新聞にも3,000部折り込むとのことですし、昨年、市役所の中でも組合事務所にチラシが置いてあったりしたので、広くいろんなところに配布しているとは思いますが。

(委員)

昨年の同団体の審査の際にも意見しましたが、市民活動推進補助金交付要綱に政治的な

主義・思想に関連するものは駄目だとあります。特定の主義・主張されるのは団体の自由だと思いますが、この補助金の案件とすることについてはいかがなものかと疑問に思います。

戦争遺品の展示などについては、悲惨さを伝えるものですが、その展示の奥に特定の主義・主張が隠れているような気がしています。政治活動なのではと思います。

(事務局)

今回は実行委員会からの申請ですが、昨年の当初申請時には「境港九条の会」から申請があり（最終的には実行委員会に修正）、平成25年度にも同団体から当補助金の申請がありました。平成25年度の際には政治的な意図があるのではないかということが議題に挙がり、審査会だけでは判断しかねるということで県、他市に同様の事例を確認しております。県、他市ともに「九条」、「憲法」と謳っているだけでは政治的とは判断できない、あくまで事業の内容をみて判断しているということでした。そのことを踏まえ、本市においても平成25年度の際には、事業内容で判断し、最終的には補助金を交付、昨年度についても同様の取り扱いで採択としております。各委員のご指摘にもありますように特定の主義・思想が反映されてはいけませんので、開催時には注意深く内容を見ていくようにいたしますが、この申請段階の内容では、直ちに駄目だとはいえない、申請を除外すべきものだとは言えないと考えております。

(委員)

活動を否定するものではないですが、特定の政治活動ではないかと思われまし、申請額も多額ですので、他の経費を切り詰めて公益のために活動されている団体に対してけじめがつかないし、申し訳ないという思いがあります。

(委員)

花いっぱい運動などとは、意味合いの違う活動であり、当補助金、当推進会議で議論すべき案件にはそぐわないと思います。

(委員)

政治的な意味合いがあるとしても戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えていくことは重要なことで、誰かがやらなければいけないことだと思います。実際、この団体以外でそのような内容で活動されている団体も特になく、活動も頑張っているし、申請内容で判断する限りでは、駄目だとは言えないと思います。事務局の説明にもありましたが、内容をしっかりチェックして、こういう団体だからとあらかじめ先入観を持つことなく、平等に取り扱っていかないといけないと思います。

他の委員のご指摘にもあったように、過去に悲惨なことがあったということを示す、展示等をやるだけでは意味がなく、それを今後につなげてもらわなければいけないと思いま

す。アンケートを取って、その意見を反映させていくなどが必要だと思います。

(委員)

事業内容が、「戦争反対」ということを声高に言う人を募るための活動になっているような気がしています。「戦争反対」と言っているだけでは、今の大変な世界情勢の中で、平和を大切にすることには繋がらないと思います。平和を守っていくためには、自分たちは今後どうしていったらいいかということに繋がる内容にしてほしいと思います。

(委員)

今回、実行委員会ですが、「境港九条の会」の同種のイベントで、1回、2回、3回と同じ内容を延々とやっているようなことも見受けられます。今回がそうだとは言えませんが、他の委員のご指摘も含め、今後につながる活動にしてもらわないといけないと思います。募金箱の位置等、特定の主義・主張を出さないように配慮してほしいと思います。

(委員)

良い活動、貴重な活動だとは思いますが、自分も含め、高齢者が昔を懐古するだけのイベントになってはいけない。次代を担う若者が、平和を守っていくにはどうしていったらいいかと考えることに繋がるようにしてもらいたいと思います。

(事務局)

「平和が大切」、「戦争反対」ということについては、普遍的な考え方であるので何も異論をはさむことはありませんが、ここに「憲法改正反対」などの特定の主義・主張が出てくるようであれば、当補助金要綱の禁止事項に抵触するものです。今回の申請内容だけを見れば、特に駄目だという理由はありませんが、実施に際して特定の主義・主張が出ていようであれば補助金取り消しの事由にもなりますので、もし今回採択ということであれば、実施内容については事務局として注意深く見ていきたいと思っています。

(会長)

事務局の説明の考え方でいいと思いますので、今回は申請通りでの採択としたいと思いますですがよろしいですか。

<異論なく、採択>

(会長)

続いて「青少年育成境港市民会議余子地区部会」です。

(委員)

他の地区でもこのような事業をやってもらえたらと思います。収穫された大量の芋はどうやって処理するのでしょうか。

(委員)

私は昨年の事業に関わりましたが、芋についてはふれあいの家事業や介護施設に食材として提供したりしています。その関係で介護施設から事業を一緒にやりたいとの申し出もあつたと聞いていますし、非常に大きな活動になっています。あれだけの規模、内容で多様な方が関わっている事業は市内にほとんどないと思います。

(委員)

非常にいい事業だと思いますし、頑張っておられると思います。他の委員のご指摘にもありましたが、子どもを主体として、事業を拡大していただけたらと思います。落書き大会もそうですが、地元の子どもの大切に、しっかり育んでいく、こういったイベントが今後出てきたら非常にいいと思います。

(委員)

小学何年生を対象とか区切ることなく、小学校で関わった子どもが中学校になっても継続的に参加してもらえるように、幅広い年代で募集するなど、継続して関わってもらえるようにしていただけたらと思います。1年間の単発で参加してもらってもあまり意味がなく、何年も継続して参加してもらって初めて、農業の苦しさも含めて、良さが分かってくると思います。

(委員)

最近の子どもは野菜もスーパーで買って、野菜そのままの形や匂などもわからないという話も聞きますので、いい機会になると思います。

(会長)

子どもの精神の安定にも土いじりがいいとのこと。今後も子どものために事業展開してもらいたいと思います。申請通りの採択としたいと思いますがよろしいでしょうか。

<異論なく、採択>

(会長)

最後は「境港歴史楽会」です。

(委員)

出版だけの事業ではもったいないと思います。これを起爆剤にして、過去の偉人の考えに触れて、これを今にどう繋げていくかが必要だと思います。

(委員)

補助金申請の条件の中に、未来に向かうとか、先に繋げていくとかそういったものがあったらいいのではと思います。単発でやって終わりというのではいけないと思います。

(委員)

この補助金がなかったら事業を止めますということではいけないと思います。補助金を基にしながら、もし補助金がでなくても規模を縮小してやるというぐらいでなければ、先に繋げていくと意味からも、原資が税金だということからも駄目だと思います。補助金ありきの事業ではやる必要がないように思います。先に繋げていくために補助金を有効に使うといった形で事業をやってもらいたいと思います。

(会長)

境港歴史楽会の歴史探訪の事業に何回か参加させてもらっています。地元こんなにも歴史的なものがあるということに感心しましたし、自分の地元でそういったものがあるという市民としての誇りを感じられました。そういったことだけでも価値があるとは思いますが、今回、原資が税金である補助金を活用するというところで、事業にどのような効果があるかということは改めて考えていかないといけないと思います。

(委員)

この補助金がどのように使われたという活動内容の写真展示など、市民に周知していく取組も行っていないといけないと思います。市民活動センターに展示スペースもありますので活用すればいいですし、どれだけの人に見てもらえるかはわかりませんが、一団体でも二団体でも他団体の状況を見て、自分たちも同じようにしていこうとか、そういった広がりが出てくればいいと思います。

(委員)

今回のような郷土の偉人の顕彰や歴史を学ぶ取組は市の予算で市がきちんとしていかなければいけないことだと思います。今回のような形もいいことだと思いますが、市のほうでもきっちりやってもらいたいと思います。

(委員)

今回のように民間の団体が少ない予算で細々とやられるだけでなく、歴史を学ぶことは大切なことですので、市の方でしっかり予算をとってまとまってやってもらいたいと思

ます。自分も含めて、いろいろと知らないことが多いので、もっとPRしていく必要があると思います。

(地域振興課長)

昨年の会議でも、広報面でのご指摘がありましたので、今年度から市報で市民活動団体を紹介していくようにする予定です。広報面についてもしっかりやっていきたいと思いません。

(会長)

いろいろ意見ありましたが、申請通りの採択ということでよろしいでしょうか。

<異論なく、採択>

(会長)

緑化事業については、全て継続事業であり、特に問題ないかと思えますがいかがでしょうか。

(事務局)

事前審査にて、プランターを毎年多く買っている団体があるが、再利用が可能ではないかというご意見ありました。毎年付帯意見等で指摘をしていますが、申請団体のうち、各小学校のPTAに関しては、関わる保護者、教員含め、毎年代替わりがあり、指摘内容が引き継がれない部分があるように思いますので、事務局よりその内容について、各団体へしっかりお伝えするようにしたいと思います。

また、移植ゴテは備品にならないのかというご意見ありましたが、単価が150円程度のもので、備品ではなく、消耗品という形で取り扱っております。

その他、申請団体である「竹内マツ植樹隊」について、5年計画で残り2年ほどであるが、5年でやめてしまうのかという意見がありました。会の代表にお話しを聞いたところ、当補助金以外に、境港管理組合から助成を受けているが、年々助成についても厳しくなってきたので、少なくとも5年間は実施するが、その後の事業内容については検討していくとのことでした。非常に良い緑化事業ですので、市報での隊員募集の案内など広報面でも支援しながら、活動を支援していきたいと思いません。

(委員)

あれだけの規模を管理していくことはとても大変なことです。現在の隊員たちが関わっている間はいいですが、松の管理はずっと続いていくことですので、どうやって活動を継続させていくかについて十分検討しないといけないと思いません。

(委員)

自分はこの活動にも参加しておりますが、今後、近くに国際貨客船ターミナルができるのに雑木林がそのままではいけないという思いからも、主旨に賛同して参加しています。

ご指摘のとおり、どう継続させていくかが課題だと思いますので、今回申請のあった「子ども農業塾」のように多くの子どもに事業に参加してもらって、発展、継続させることができたらと感じておりますので、自分も盛りあげていきたいと思ひます。

境港管理組合の土地ですが、管理組合の予算もどんどん削られておりますので、緑の募金などの補助金も活用して事業していくようにもしているようです。

(会長)

緑化事業について、当補助金の広報、成果を見てもらう意味も含めて、緑化事業共通のステッカーを作って、プランターに貼ってもらおうといったことをしてもいいのではないかと思います。

(委員)

京和町自治会は自分たちでステッカーを作って貼っています。宝くじ助成事業のように補助金を活用しているとわかるように、そういったこともしていけばいいと思ひます。

(事務局)

検討してみます。

(会長)

ほかに緑化事業に関してご意見ありますか。

(委員)

毎年、マンネリ化しないようにしていただきたいと思ひます、総合技術高校のように毎年発展させていく取組をしていただきたいと思ひます。

(会長)

その他、意見ないようですので、緑化事業については申請通りの採択としたいと思ひますがいかがでしょうか。

<異論なく、緑化事業については申請どおり採択>

<閉会>